

各位

2026年4月27日
群馬中小企業家同友会
代表理事 町田 英之
代表理事 杉崎 由里
政策委員長 小林 光義

中東情勢緊迫化の中小企業への影響調査（緊急調査）の結果について

日頃より当会の活動にお力添えをいただき、誠にありがとうございます。

中東情勢緊迫化の中、会員企業に甚大な影響が出ています。石油関連製品を主に、資材高騰、仕入難、それに伴った急速な資金繰りの悪化が懸念されています。当会では、緊急で会員企業に調査を実施し集計しました。特に記述回答では悲痛な声が寄せられています。中小企業の実態ですので、ご参照ください。

主催：群馬中小企業家同友会

期 間：2026年4月20日（月）～4月23日（木）

調査対象：当会会員 503名

調査方法：Google フォーム及びメール・FAX

回 答 数：84名【業種内訳：建設11 製造33 農業3 流通・商業8 サービス業29】

結果の概要

1、現時点で17.9%が甚大な影響あり、現時点で多少のマイナス影響含むと60.7%

マイナス影響の見込みまで入れると84.5%が影響を受ける。回答者の84.5%が今回の事態を経営上のリスクと捉えている。業種別には、農業は現時点で100%が影響を受けている。製造業は96.9%、建設業が90.9%と続く。特に、甚大な影響を受けている企業の記述回答は悲痛。

2、原材料・資材のコスト上昇が全業種で深刻

マイナス影響は、原材料・資材のコスト上昇が全体でトップ。建設業、製造業では90%を超える。メーカー等の受注停止による在庫不足・在庫切れ、物流・仕入れの調達遅延や調達困難が調達困難も全体で5割を超えており、影響が長引けば受注減少や需要減衰をも警戒している。

3、影響への対策は、調達先の多様化と価格転嫁がトップに並ぶ

影響下にある企業は対策を進めている。原材料や資材の調達先の多様化（52.4%）が全体でトップ、在庫の積み増し（40.5%）、価格転嫁（36.9%）と続く。この間、価格転嫁に苦慮してきた中小企業だが、この状況下で迅速な転嫁ができるかが事業継続に直結する。

4、悲痛な声（記述回答より一部抜粋）

- ・ナフサ由来の材料が納品されないため、工事が進められなくなっている。コロナ並み。（建設）
- ・基材の管材商社在庫がなくなり、ホームセンター在庫もなく、資材供給が止まったため、来週以降の工事が出来なくなった。電気系の部品も止まっているものがあり、他職が止まることで連鎖的に建設現場が止まっていく。シンナー、塗料がないという話があり、機械の組立て後の仕上げ塗装が出来ずに出荷出来ないなども発生が予想される。（建設）
- ・中東情勢の影響が続けば事業継続は厳しくなると思う。（建設）
- ・確実に物価高騰になり倒産件数は増える。仕事はあるが、材料が入荷しない為、資金繰りに影響が及ぶ。（建設）
- ・原油が入ってこないことで生産設備への油類の供給ができなくなり結果として設備の停止をせざるを得なくなります。その場合、事業の継続は不可能です。（製造）
- ・原材料の仕入れが多い弊社では、この状況が続くと見積や納期回答を出せなくなってしまい、受注計画に大きな影響が出ます。（製造）
- ・設備投資の動きが鈍くなり、仕入れコストの上嫁が出来ないどころか下げ圧力も強くなる可能性も強く出てきそうな気がする。淘汰の高波がやってきそう。（製造）
- ・原油の供給不足により、多方面の関連商品において15～65%の値上げ、商品不足など甚大なる影響が出ています。また、機械の潤滑油においては、大手メーカーでは受注停止の状態です。長期に渡りこの状態が続く場合、事業継続に関わる重大な状況です。（製造）
- ・賃上げに引き続き、原材料費の益々の高騰を受けて、既存業界での生存はかなり困難であると考えている。塗料や接着剤などものづくりに欠かせない製品の欠品は外部環境なので政府にしっかりと仕事をして頂きたい。（製造）
- ・梱包資材がないため、製造しても販売出来ないので経営困難となり倒産の危険がある。（製造）
- ・現在の状況が長期化すると石油化学製品の段階的な値上げが行われ、得意先に対する値上げ交渉が追い付かなく、自社負担の部分が增大する恐れがある。（製造）
- ・石油不足（ナフサ、軽油、潤滑油など特に）による経済活動の停止（減産、失業、倒産）を懸念。またそれらによる消費意欲の減退を懸念。（流通・商業）
- ・部材調達の見通しが見えず、製品製造、メンテナンス計画の見直しが必須。同時に売上減に繋がり資金調達も厳しくなっている。（流通・商業）
- ・自動車整備上で必要となる油脂類や塗料の調達が困難な状況にあり、新規の入庫をお断りしている。一時的なものであれば、既存客は最低限守れると見通している。しかし、情勢が好転せず、長期化した場合には企業ダメージを避ける事はできない。（サービス業）
- ・原材料の高騰はまだ始まったばかりですが、これから事業に関するほぼ全てのものが値上がり、または仕入れ困難な状況に陥るのではと感じています。これまで、何度も値上げ対応して来ましたが、今回の価格高騰は30%以上の大きなものになりそうな予想のため、どこまでお客様がついてきてくれるのか心配しかありません。（サービス業）

以上

群馬中小企業家同友会【緊急】中東情勢 影響調査【ぜひご回答ください】

質問は7項目で回答用紙は2枚です。Google フォームでも回答できます。回答目安5分。

中東情勢緊迫化のなか、中小企業に甚大な影響が出ています。石油関連製品を主に、資材高騰、仕入難、それに伴った急速な資金繰りの悪化が懸念されています。群馬同友会では緊急で会員の皆様に調査を行い、集計結果を公表し、群馬県等への要望につなげて参ります。ぜひ、ご回答をお願いします。個別企業名は公表されません。

政策委員長 小林光義

企業名 _____ 回答者名 _____

問1. あなたの会社の業種（売上が一番大きい業種）をお答えください（単一回答）

- ① 建設業 ② 製造業 ③ 農業 ④ 流通・商業 ⑤ サービス業

問2. あなたの会社の総従業員数（役員+正社員+パート含む）をお答えください（単一回答）

- ① 1~10人 ② 11~20人 ③ 21~30人 ④ 31~50人 ⑤ 51人以上

問3. 中東情勢緊迫化の影響はありますか（単一回答）

- ① 現時点で甚大なマイナス影響がある ② 現時点で多少のマイナス影響がある
③ 現時点でマイナス影響はないが、今後は影響がある
④ 現時点では分からない ⑤ 現時点でも今後も影響はない（ない見込み）

問4. 問3で、①・②・③を選択された方に伺います。どのような影響がありますか。

または想定されますか（複数回答可）。

- ① 原材料、資材のコスト上昇 ② メーカー等の受注停止による在庫不足・在庫切れ
③ エネルギーのコスト上昇 ④ 物流・仕入れの調達遅延や調達困難
⑤ 受注減少や需要減衰 ⑥ 為替変動の影響 ⑦ 資金繰りのひっ迫
⑧ その他（ _____ ）

問5. 問3で、①・②・③を選択された方に伺います。影響に対してどのような対策を行っていますか。

または準備していますか（複数回答可）

- ① 原材料や資材の調達先の多様化 ② 在庫の積み増し ③ 運転資金の確保
④ コスト削減 ⑤ 価格転嫁 ⑥ 賃金や採用の抑制 ⑦ 投資計画の見直し
⑧ その他（ _____ ）

問6. 今後の見通しや事業継続の懸念について記述してください（記述回答）

問7. 政府や群馬県、金融機関に対しての要望があれば教えてください（記述回答）

アンケートは以上です。回答のご協力に感謝申し上げます。

回答フォームはこちら →



送信先 / FAX:027-232-0666 mail: g-douyu@po.wind.ne.jp

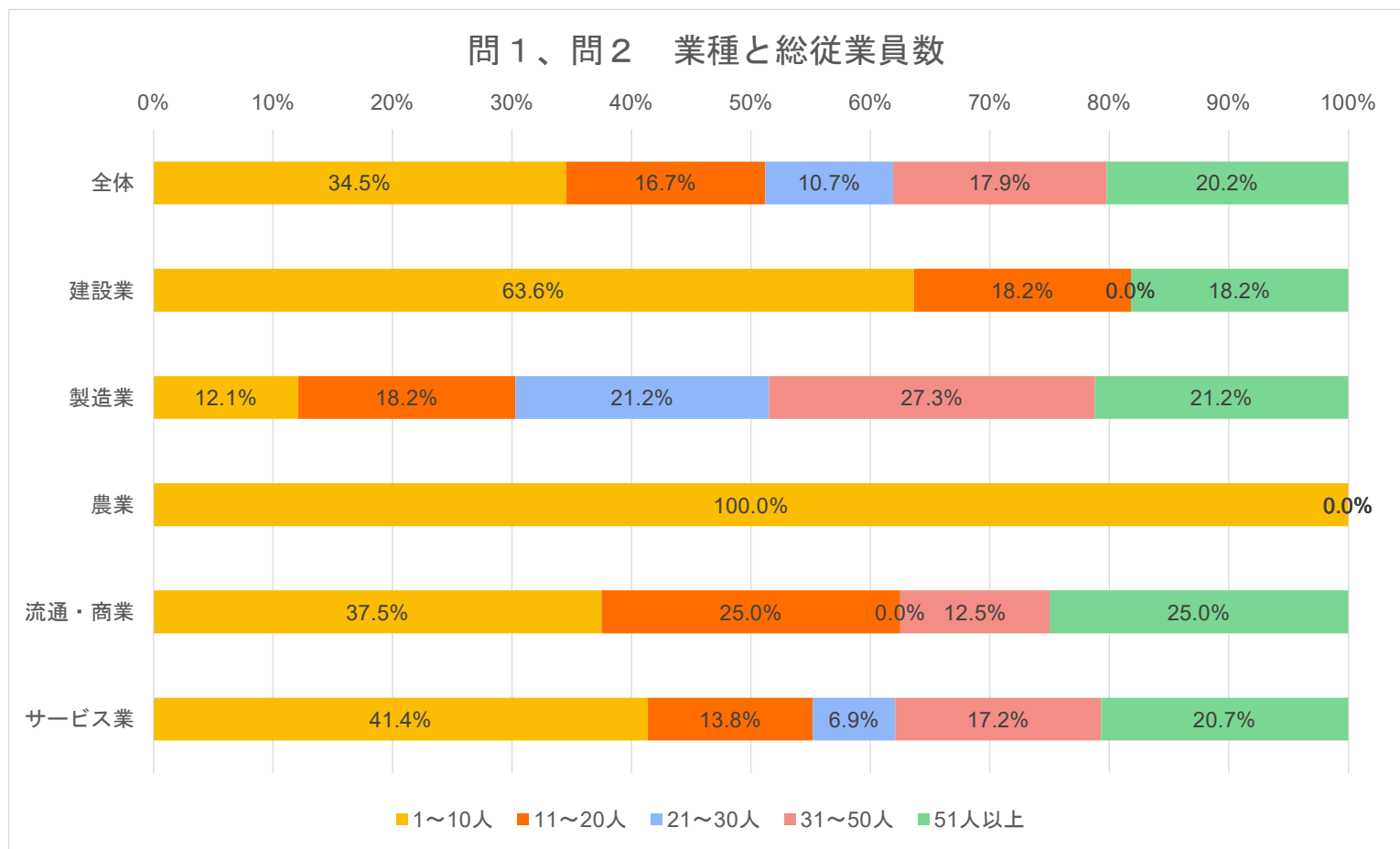
送信締切 / 4月23日（木）

群馬中小企業家同友会 事務局

TEL:027-232-0001

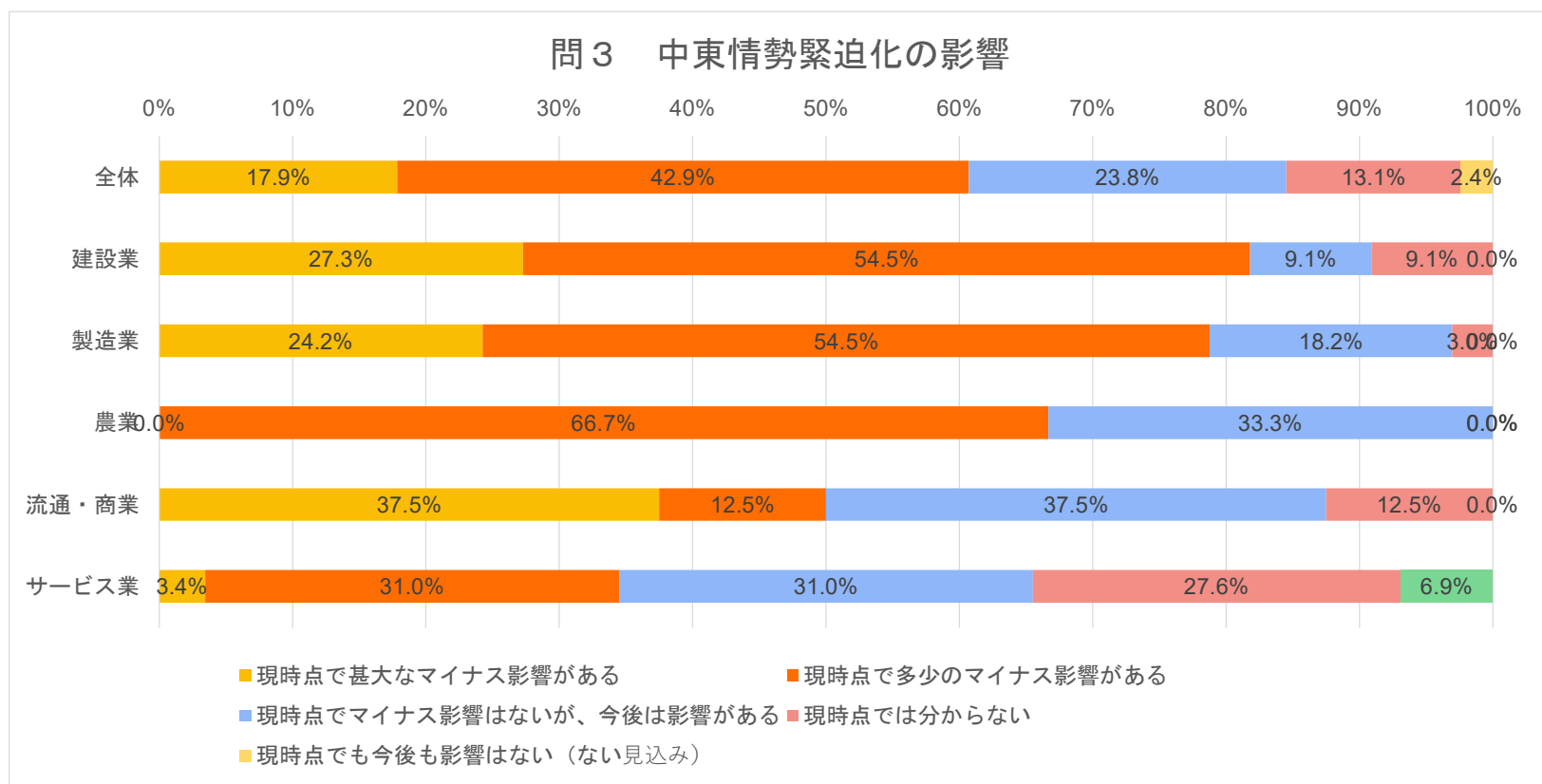
問1、問2 業種と総従業員数

業種	合計	1～10人		11～20人		21～30人		31～50人		51人以上	
全体	84	29	34.5%	14	16.7%	9	10.7%	15	17.9%	17	20.2%
建設業	11	7	63.6%	2	18.2%		0.0%		0.0%	2	18.2%
製造業	33	4	12.1%	6	18.2%	7	21.2%	9	27.3%	7	21.2%
農業	3	3	100.0%		0.0%		0.0%		0.0%		0.0%
流通・商業	8	3	37.5%	2	25.0%		0.0%	1	12.5%	2	25.0%
サービス業	29	12	41.4%	4	13.8%	2	6.9%	5	17.2%	6	20.7%



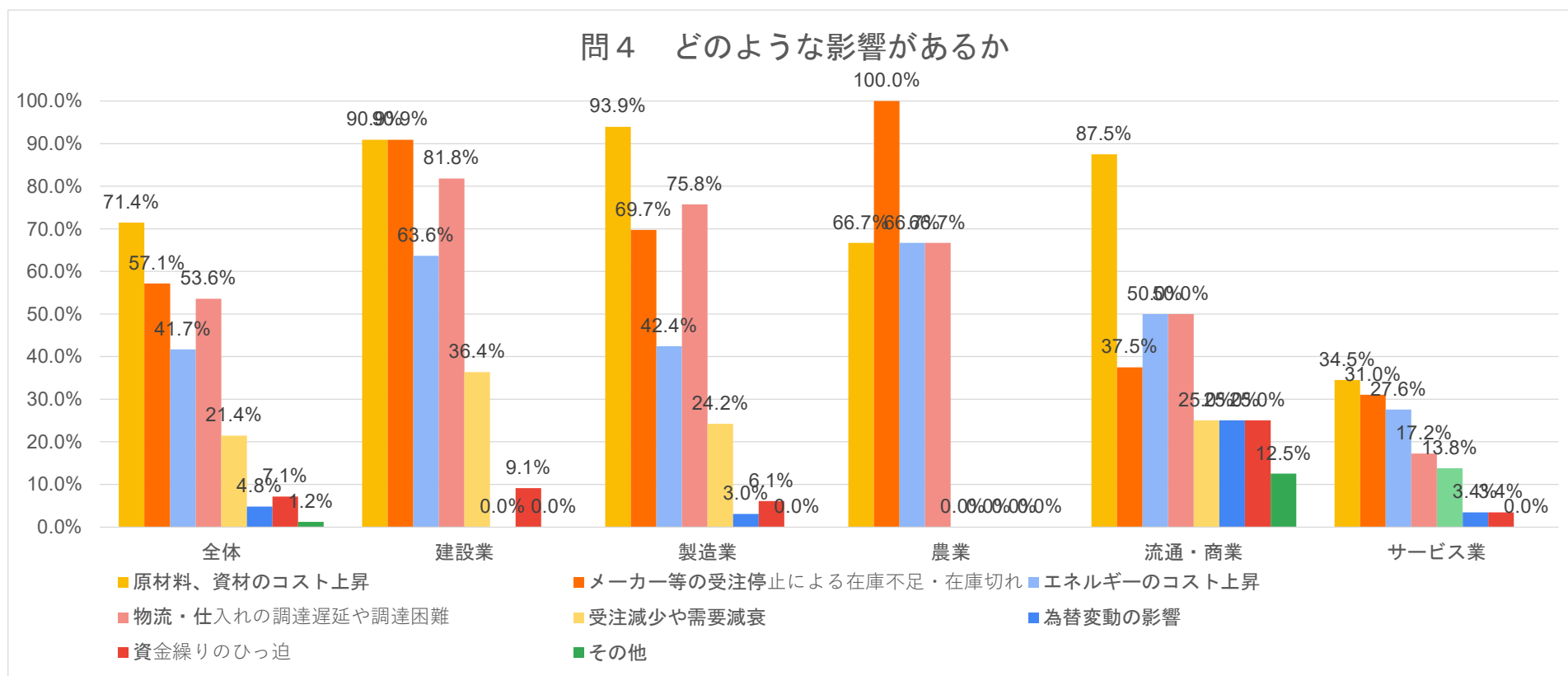
問3 中東情勢緊迫化の影響

業種	合計	現時点で甚大なマイナス影響がある		現時点で多少のマイナス影響がある		現時点でマイナス影響はないが、今後は影響がある		現時点では分からない		現時点でも今後も影響はない(ない見込み)	
		件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
全体	84	15	17.9%	36	42.9%	20	23.8%	11	13.1%	2	2.4%
建設業	11	3	27.3%	6	54.5%	1	9.1%	1	9.1%	0	0.0%
製造業	33	8	24.2%	18	54.5%	6	18.2%	1	3.0%	0	0.0%
農業	3	0	0.0%	2	66.7%	1	33.3%	0	0.0%	0	0.0%
流通・商業	8	3	37.5%	1	12.5%	3	37.5%	1	12.5%	0	0.0%
サービス業	29	1	3.4%	9	31.0%	9	31.0%	8	27.6%	2	6.9%



問4 どのような影響があるか

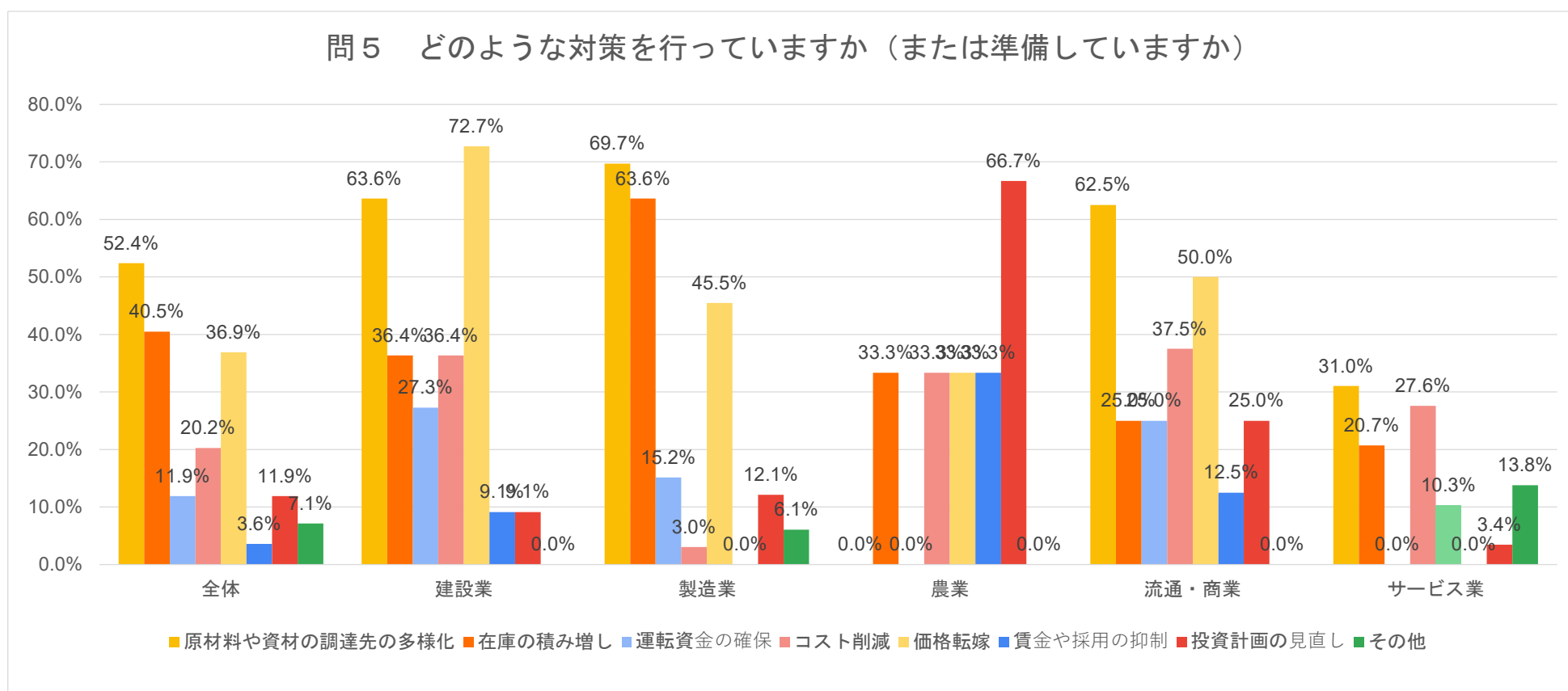
業種	合計	原材料、資材のコスト上昇		メーカー等の受注停止による在庫不足・在庫切れ		エネルギーのコスト上昇		物流・仕入れの調達遅延や調達困難		受注減少や需要減衰		為替変動の影響		資金繰りのひっ迫		その他	
		件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
全体	84	60	71.4%	48	57.1%	35	41.7%	45	53.6%	18	21.4%	4	4.8%	6	7.1%	1	1.2%
建設業	11	10	90.9%	10	90.9%	7	63.6%	9	81.8%	4	36.4%		0.0%	1	9.1%		0.0%
製造業	33	31	93.9%	23	69.7%	14	42.4%	25	75.8%	8	24.2%	1	3.0%	2	6.1%		0.0%
農業	3	2	66.7%	3	100.0%	2	66.7%	2	66.7%		0.0%		0.0%		0.0%		0.0%
流通・商業	8	7	87.5%	3	37.5%	4	50.0%	4	50.0%	2	25.0%	2	25.0%	2	25.0%	1	12.5%
サービス業	29	10	34.5%	9	31.0%	8	27.6%	5	17.2%	4	13.8%	1	3.4%	1	3.4%		0.0%



問5 どのような対策を行っていますか（または準備していますか）

業種	合計	原材料や資材の調達先の多様化		在庫の積み増し		運転資金の確保		コスト削減		価格転嫁		賃金や採用の抑制		投資計画の見直し		その他	
		件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
全体	84	44	52.4%	34	40.5%	10	11.9%	17	20.2%	31	36.9%	3	3.6%	10	11.9%	6	7.1%
建設業	11	7	63.6%	4	36.4%	3	27.3%	4	36.4%	8	72.7%	1	9.1%	1	9.1%		0.0%
製造業	33	23	69.7%	21	63.6%	5	15.2%	1	3.0%	15	45.5%		0.0%	4	12.1%	2	6.1%
農業	3		0.0%	1	33.3%		0.0%	1	33.3%	1	33.3%	1	33.3%	2	66.7%		0.0%
流通・商業	8	5	62.5%	2	25.0%	2	25.0%	3	37.5%	4	50.0%	1	12.5%	2	25.0%		0.0%
サービス業	29	9	31.0%	6	20.7%		0.0%	8	27.6%	3	10.3%		0.0%	1	3.4%	4	13.8%

問5 どのような対策を行っていますか（または準備していますか）



問6 今後の見通しや事業継続の懸念(記述回答)

① 建設業	ナフサ由来の材料が納品されないため、工事が進められなくなっている。コロナ並み。
① 建設業	仕事は変わらずある中で、売り上げ内容を良くしていくとなると今回の中東情勢は非常に厄介だと感じています。
① 建設業	塩ビ製品(20%程度値上げ)、接着剤(50~70%値上げ)など価格高騰に加えて、基材の管材商社在庫がなくなり、ホームセンター在庫もなく、資材供給が止まったため、来週以降の工事が出来なくなった。電気系の部品も止まっているものがあり、他職が止まることで連鎖的に建設現場が止まっていく。他県でも同じ状況で全国の工事現場が止まって来ている。シンナー、塗料がないという話があり、機械の組立て後の仕上げ塗装が出来ずに出荷出来ないなども発生が予想される。タンクなどはメーカーにもよるが保有在庫のみとの情報もある。 水道本管工事他、これから公共工事の入札が増えるが材料の見積すら出てこないの入札金額の積算が出来ない。また、更なる資材価格高騰も予想されるため、公共工事の採算悪化による業績への影響も小さくないと想像する。 5/1以降、職人の仕事が無くなるので雇用調整助成金の申請準備を進めている。その他、研修等も急ぎ計画を立てていく予定。 水処理系の薬剤も供給が縛られて在庫ないものが出て来ており、調達が難しくなってきた。価格が20%以上上昇しているが、お金を出せば今のところ買うことは出来るのが救いである。供給止まると水処理設備の能力維持が出来なくなる施設が増えるので注意が必要。
① 建設業	正確な情報のもと対策を考えたい
① 建設業	資材の納入が入らず、工事が止まることや受注できない可能性がある。
① 建設業	中東情勢の影響が続けば事業継続は厳しくなると思う。
① 建設業	確実に物価高騰になり倒産件数は増える。仕事はあるが、材料が入荷しない為、資金繰りに影響が及ぶ。
① 建設業	価格転嫁により受注困難の場合、苦肉の策として仕事がないわけにはいかないので安請負の検討。
① 建設業	すぐには大きな影響は無いと思われませんが、設備、商品の値上げは確実に起こり、少し時間をおいてから事業への影響が出てくると思われます。事業継続については今の所大きな心配はありません。
② 製造業	切削油、作動油等の油関係の入手が難しくなりそう。
② 製造業	原油が入ってこないことで生産設備への油類の供給ができなくなり結果として設備の停止をせざるを得なくなります。その場合、事業の継続は不可能です。事業継承云々の前に経営が成り立たなくなります。
② 製造業	原材料の仕入れが多い弊社では、この状況が続くと見積りや納期回答を出せなくなってしまい、受注計画に大きな影響が出ます。
② 製造業	価格転嫁の遅れによる利益率低下/材料供給停止による販売機会損失
② 製造業	価格が高騰すること以上に、品不足になる事が心配です。
② 製造業	電気代、ガソリン代、工具代高騰による負担増
② 製造業	設備投資の動きが鈍くなり、仕入れコストの上嫁が出来ないどころか下げ圧力も強くなる可能性も強く出てきそうな気がする。淘汰の高波がやってきそう。
② 製造業	原油の供給不足により、多方面の関連商品において15~65%の値上げ、商品不足など甚大なる影響が出ています。また、機械の潤滑油においては、大手メーカーでは受注停止の状態です。長期に渡りこの状態が続く場合、事業継続に関わる重大な状況です。
② 製造業	材料や光熱費の高騰に伴う利幅の減少
② 製造業	賃上げに引き続き、原材料費の益々の高騰を受けて、既存業界での生存はかなり困難であると考えている。ここまでの知財やスキルセットを活用して、次々と製品開発や協業による市場開発をしていく。2026年から徐々に進める計画だったものを前倒して進めている。しかし、塗料や接着剤などものづくりに欠かせない製品の欠品は外部環境なので政府にしっかりと仕事をして頂きたい
② 製造業	潤滑油が入手できないと生産設備の稼働が止まってしまいます。
② 製造業	先行きが現状では不透明。懸念事項は多数有り。
② 製造業	仕入れが薄くなり、売上が立たなくなる事
② 製造業	直接部材への影響は軽微だが、前後工程の停止リスクが高い状態が続いている
② 製造業	潤滑油が手に入らないのがリスク。油がないと設備が稼働できない
② 製造業	予測が出来ない
② 製造業	事業は続けます。生き残ります。その方法として制御盤製造メインから落ち着くまでサービス(メンテナンス・リニューアル)ヘシフトさせます。
② 製造業	継続において、懸念少ないが、客先の求める出荷量が減少することと、価格転嫁の仕方も非常に厳しい(製品種類が多いため価格改定入力のためのそのもの作業)。
② 製造業	このままだと約2ヶ月くらいしか持たない…
② 製造業	製造業全体を見るとまず止まるのは樹脂材料と見ており、樹脂材料の停止による自動車生産ラインストップによる受注減が可能性の高い状況と見ています。

② 製造業	梱包資材がないため、製造しても販売出来ないのが経営困難となり倒産の危険がある。資材の価格高騰が激しく懸念点である。
② 製造業	製造ができなくなる事(資材不足、購入価格の増加、資金不足)
② 製造業	見通せないのが問題
② 製造業	生産用資材の欠品より、製造が立ち行かない。
② 製造業	現在の状況が長期化すると石油化学製品の段階的な値上げが行われ、得意先に対する値上げ交渉が追い付かなく、自社負担の部分が增大する恐れがある。また、協力会社に依頼している塗装関係の部品が納期遅延になる恐れがある。
② 製造業	材料費高騰による資金繰りの悪化
② 製造業	副資材や梱包資材等の化成品の調達と塗装品の金額交渉と納期交渉
③ 農業	米袋、肥料、ビニール資材等の高騰により、出荷価格の引き上げを取引先に依頼する。
④ 流通・商業	リフォームをする際の塗料の原材料費が上がっている
④ 流通・商業	石油不足(ナフサ、軽油、潤滑油など特に)による経済活動の停止(減産、失業、倒産)を懸念。またそれらによる消費意欲の減退を懸念
④ 流通・商業	あらゆる資材の価格の値上げが想定される、仕入れの調達が不安定になる
④ 流通・商業	1) 半導体・石化製品を取扱うお客様の売上Downが、当方の売上に影響 2) 輸入品を中心とした仕入れ商品の値上げ
④ 流通・商業	部材調達の見通しが見えず、製品製造、メンテナンス計画の見直しが必須。同時に売上減に繋がりが資金調達も厳しくなっている。
④ 流通・商業	物価高による売り上げ減少と、後継者の不在で悩んでいる
⑤ サービス業	自動車整備上で必要となる油脂類や塗料の調達が困難な状況にあり、新規の在庫をお断りしている。一時的なものであれば、既存客は最低限守れると見通している。しかし、情勢が好転せず、長期化した場合には企業ダメージを避ける事はできない。
⑤ サービス業	直接的な影響は少ないが、(経済は循環しているから)顧客への影響が徐々に表れる可能性は大きいと思われる。
⑤ サービス業	潜在顧客、すそのを広げる
⑤ サービス業	環境分析の分野では、現時点での影響は試薬やプラスチック製品、高圧ガス等の供給が厳しくなりつつある。長引くようなら今後は上記の製品が手に入らなくなる恐れがある。
⑤ サービス業	原材料の高騰はまだ始まったばかりですが、これから事業に関するほぼ全てのものが値上がり、または仕入れ困難な状況に陥るのではと感じています。これまでも、何度も値上げ対応して来ましたが、今回の価格高騰は30%以上の大きなものになりそうな予想のため、どこまでお客様がついてきてくれるのか心配しありません。
⑤ サービス業	結婚式需要の減少
⑤ サービス業	様々なコストがアップすると思う。
⑤ サービス業	各種アンケート調査の結果につて、国がどのような対応をするのか、県にどこまで支援する気持ちがあるのか、気になる。給油制限は特にないが、新液不足を背景に再生溶剤を求める声が増え業者に尋ねるも、そもそも原料である廃液が不足しており再生品の量を増やすところではないそうだ。建材や廃棄物を入れるフレキシブルコンテナという袋の価格も3倍近く跳ね上がっている。
⑤ サービス業	介護保険・医療保険制度が変わらない限り売り上げは上がらない。5年後を目途に主力事業からは撤退し、現在細々とやっているIT、飲食事業への完全転換か・・・
⑤ サービス業	グローブが手に入らない
⑤ サービス業	燃料費以外の経費削減を行なっていき、事業継続につなげる
⑤ サービス業	業績悪化の企業が増えると特にブルーカラーの人材派遣ニーズが減少する。
⑤ サービス業	取引先においてはマイナス影響しかないのがそれが当方の顧問料に影響が出てくるかどうか、、、長期にならなければと思います
⑤ サービス業	主要事業がBtoBなので、そもそも中東情勢に関わらずコロナ後から倒産企業が相次いでいたの、中東情勢が直接の原因である影響は現在のところ感じていない。(コロナ後の倒産が相次いだ時の方が大変だったが、今後さらなる企業倒産の影響を受ける可能性は否めない)現在はBtoCや公共事業に付帯する事業を拡大しているところ。できるだけ建築など影響を大きく受けている分野の売り上げ比率を下げる対策を検討している。
⑤ サービス業	ガソリンが高い
⑤ サービス業	業績は前年並みを計画(横ばいに近い)、事業の継続については経費増から不安はある。
⑤ サービス業	仕入れ商品の数量規制や欠品
⑤ サービス業	建設資材の納期遅れによる工期延長が発生した場合、監理費用の価格転嫁が非常に難しく機会損失が売上減に直結する可能性を懸念している
⑤ サービス業	舗装する会社が工事ができないと仕事が減る可能性がある。
⑤ サービス業	お客様が影響を受けた場合に、連鎖的に影響が出始めると思われます。

問7 政府や群馬県、金融機関に対しての要望(記述回答)

① 建設業	発注停止等無いよう、して欲しい。
① 建設業	自分たちで何とかするしかないと思っています。
① 建設業	早期に通常供給状態に回復する可能性もあるかもしれないが、既に全国の工事現場は止まって来ているので、早急に対策が必要。公共インフラの緊急度の高い施設への資材は確保しつつ、中小零細企業への経済的対策を急がないと資金繰り回らず倒産企業が増える。直ぐに出来ること、中長期で備えることをコロナ禍での施策をベースに実施して欲しい。農業資材にも影響出るはずなので、食料需給への影響を緩和出来るような措置も取ってほしい。
① 建設業	至急、制度融資などを資金調達がしやすい環境を整えて貰いたい。
① 建設業	戦争を止めてほしい、工事の工期延長、物価スライドにおける受注価格の変更
① 建設業	給付金等検討していただきたい。
① 建設業	価格高騰に対しての対策(減額対象等) 資金繰りの緩和処置等
① 建設業	価格の正常化。世界レベルでの賃金の平等化・正当化。大企業への優遇・好待遇の再検討。
① 建設業	無利子、低利子の新しい融資制度が出るとありがたいです。
② 製造業	流通の途中で、誰かが意図的に止めているとしか思えないので、政府に調査して頂きたい。
② 製造業	原油の安定的な輸入先、輸入経路を遡及に確保して少なくとも中東問題が勃発する前の水準に戻してもらいたい。
② 製造業	コロナの時のような助成金や特別金利での融資枠
② 製造業	事業停止時の補償や補助など検討していただきたい
② 製造業	買占めしないように、普段通りになるように、冷静さを保ちたい
② 製造業	2年間限定で消費税なし
② 製造業	制度融資の強化
② 製造業	返済に対する緩和策
② 製造業	結局自分たちのことしか考えていない。そんな風に見える。地銀や信金も自分たちの利益確保ばかりで、リスクは取らず、苦しい企業に傘は差し出さない。そういった現状を見て見ぬふりする行政も政府も「外部環境で苦しい企業を救って未来の繁栄に繋げる」というビジョンは持っていないと感じる。そういう政治家を選んできた我々の責任なのでなんともいえないが、地域の産業が壊滅した後、どうやって雇用や経済を守るのか、大切な知識や技術を企業と共に葬った後、その損失がどんな影響を生むのか想像したことがあるのか？そういう視点を持って仕事して頂きたい
② 製造業	借入金の金利を下げる方策を実施頂きたい。
② 製造業	主要産業、主要素材の海外依存度低下、国内対応力の向上
② 製造業	調達先の拡充
② 製造業	調達先多角化による資材の安定供給、コストの安定化
② 製造業	少しづつの価格上昇はやむを得ないと考えます。もの(原材料)が入ってこない会社は止まります。政府へモノだけは止まらない様お願い致します。
② 製造業	流通の目詰まりを起こさせない確実な対処と便乗値上げの抑制
② 製造業	資金繰りへの配慮
② 製造業	国には国外からの調達ルート確保をお願いしたい
② 製造業	早急に中東情勢の解決をしなければかなりの企業の倒産などが起こる。 梱包資材がないということは食品だけでなくビニール類に梱包されてるものやラップ等の生活用品にも大きく支障が出て、大問題になる。
② 製造業	自動車メーカー、Tier1へ下請けの救済処置
② 製造業	自助努力を行っている企業に対しての支援を開始してもらいたい。
② 製造業	石油備蓄の使用とナフサへの転化を至急願う。
② 製造業	大手企業による資材等の買い占めや独占を監視してほしい
④ 流通・商業	政府 原油輸入ルート確保、量の確保。イラン、ロシアとの交渉 県 緊急事態への備え(原油、資材などの調達困難、自治体の機能維持) 金融機関 中小企業向け緊急融資制度の開始
④ 流通・商業	運転資金へのレートの見直し(減)での書き替え等
④ 流通・商業	1)金利引下げ 2)適切な助成金の設定 3)使用していない農地等の工業用地化
④ 流通・商業	このような時だからこそ中小企業の声に耳を傾けコロナ融資のような施策を考えて欲しい。
④ 流通・商業	無利子の融資か補助金を検討して欲しい
⑤ サービス業	中東情勢の影響による助成金や手当を視野に入れてほしい。
⑤ サービス業	①イランとの友好関係を築くべし。 ②速やかに他国から重油の調達を検討するべき。ロシアとか。 ③アメリカのポチは辞め、独立国家として自立して欲しい。
⑤ サービス業	介護報酬の見直し
⑤ サービス業	政府や群馬県への要望としては、上記の製品は医療分野と重なる。人命がかかっているので優先順位は理解できるが、環境分析の業界にも供給が滞らないようにしてほしい。 そうでないと、仕事が出来なくなってしまう恐れがある。

⑤ サービス業	補助金や助成金の拡大 法人税等の減税策
⑤ サービス業	何を言っても無駄なので何もしません。
⑤ サービス業	医療、介護は毎日必要な物品ばかりである。
⑤ サービス業	車での移動が必須な事業を行なっているため、燃料費が上がっていることでの経費圧迫は否めません。今後も下がっていくことは考えづらいので、補助金を利用できるようにしていただきたい。
⑤ サービス業	資金繰りに困る企業が増える。無担保・無利子などの特例措置をお願いしたい。
⑤ サービス業	所得税の廃止
⑤ サービス業	中小企業が新しい分野や革新的技術開発に取り組む上(外部委託ありきではなく社内で実施するため)での助成金や融資枠をもっと作ってほしい。また、優秀な人材を早めに確保するために、若い人たちに県内で働きたいと思ってもらえるようなまちづくりにも尽力してほしい。
⑤ サービス業	高市政権を支持します。
⑤ サービス業	コストプッシュ型のインフレの見直し、労働者の過度な保護(解雇要件など)の見直し
⑤ サービス業	この情勢を乗り切るための資金援助等
⑤ サービス業	中東情勢の件では特にない
⑤ サービス業	特にないが、ガソリンがこれだけ緩衝材になる品目であることに気づいた。税金を稼げる品目が逆に税金が出ていく品目になった。
⑤ サービス業	このような中小企業ではどうにも吸収できない状況、例えば遅延による損害(機会損失、価格転嫁不履行等)に対しての何らかの手立てを県には行って頂きたい。金融機関に対しての要望は特になし。
⑤ サービス業	資金繰り支援として、低金利の融資をお願いしたい。
⑤ サービス業	補助金や緊急借り入れが必要な状況になった場合に、すぐに対応していただく態勢準備をお願いしたい。